

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱「あなたの声を聞かせてね」の設置 ・利用者アンケートの実施(実施期間:令和2年10月12日～令和2年11月13日/回答者数:児童向け32名/大人向け47名)
(2)把握結果	<ul style="list-style-type: none"> ・主な意見として、次のものがあつた。 ・新規貸出図書、おもちゃのリクエスト ・ドッジボール、卓球をしたい。 ・ホームページでセンターの決まり等が掲載されているので、来館前の参考にした。
(3)結果を受けての対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新規図書やおもちゃの購入時にリクエストを反映させた。 ・三密を避けて活動できる一輪車や初心者向けのけん玉、一人用のトランポリンを購入した。 ・ホームページに新たに「センターQ&A」のコーナーを設け、利用者からのよくある質問を掲載した。 ・今後も情報提供に努め、周知を図っていく。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	<ol style="list-style-type: none"> 1 管理運営の方針については、事業計画書に記載されている事項を遵守されていた。 2 平等利用の確保については、利用者の公平性がきちんと確保されていた。 3 個人情報の保護については、「個人情報取扱規程」及び「特定個人情報等取扱規程」を新たに制定し、各種規程や吹田市個人情報保護条例を踏まえ、徹底に努めていた。
(2)施設の効用の発揮	<p>設置目的に合致した事業計画を立て、新型コロナウイルス感染症の影響により計画通りとはいかないものの、感染対策を講じながら、利用者のニーズに合致した事業を実施している。また、地域の諸団体・住民の協力を得て日々運営しており、サービス向上に努めることで利用者の満足度が高くなっている。</p> <p>安全対策においては、職員会議や日々の業務の中で注意喚起を図る等、周知が徹底されているほか、月1回避難経路及び危険箇所の確認を行っている。なお、今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、例年、自主事業として館内での火災、防犯等に関する事業等を実施している。</p>
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	<p>館長、主任児童厚生員、児童厚生員を配置し、適切に役割分担がなされており、安定した人員体制となっていた。また、事務処理を適切に行うために事務員を配置していた。</p> <p>児童センターの職員だけでなく、運営委員をはじめ、多くの地域のボランティアの協力を得ながら、児童センターの運営に取り組んでいた。事務処理について、規則等で定められたことが実施できていない箇所が見られたため、改善を求めた。</p>
(4)施設の管理経費の縮減	<p>地域のボランティアの協力により除草・剪定が行われており、委託料が縮減されていた。また、地域に居住する者を職員として採用することにより、通勤費が不要となり、人件費が縮減されていた。</p> <p>日々の取組みとしては、館内の蛍光灯の間引き、使用していない部屋についてのこまめな消灯や印刷物の裏紙利用などコスト削減に積極的に取り組んでいた。</p>
(5)地域人材の活用〔その他〕	<p>地域に居住する保育士や教員の有資格者を児童厚生員として採用しており、地域の人材の活用を図っている。</p>
(6)総合評価	<p>児童センターの行事や施設管理等に地域の諸団体や住民に関わっていただけるよう工夫されており、児童センターでの活動が地域全体で子育てを行う基盤づくりにつながっている。利用者の意見を聴きながら、設置目的に合致した様々な事業を実施しており、利用者満足度も高い。広報誌については利用者の意見を取り入れながら作成されており、アンケート結果からみてもわかりやすいものとなっていることが伺える。また、独自のホームページを作成する等、施設の利用促進に努めている。</p> <p>安全管理や個人情報の管理は、職員会議や日々の業務の中で注意喚起を図るなど細部まで気を配っていた。また、新たに個人情報の取扱いに関する規程を策定する等、管理の徹底に努めている。</p> <p>事務処理面において、規則等で定められたことが実施できていない箇所が見られたため、改善の必要がある。</p>